茶のしずく被害埼玉から８人で第二次提訴しました

当事務所の竹内和正弁護士が事務局長を務める
【茶のしずく石けん被害対策埼玉弁護団】が
製造元会社の悠香など３社に対して、別途８名の原告で損害賠償を求める訴訟を起こしました。

埼玉県内で被害に遭われた方のご相談・お問い合わせは
当事務所（**048-862-0800**）までご連絡下さい。

日弁連より生活保護実態パンフが発行されました

日弁連（日本弁護士連合会）にて
生活保護の実態Ｑ＆Ａパンフレットが
発行されました。

現在、生活保護制度について
不正受給のイメージが拡がり、
本当に生活保護が必要な方が
申請をためらうという事態が起きているのが現状です。

きちんと現状を知った上で
必要な方にはためらう事なく
生活保護制度を利用していただきたい、
という思いで、作られたパンフレットです。

是非、ご一読ください。

パンフレットは→こちら

生活保護制度（PDF）Q&A

6/19□震災支援こころのケアについて朝日新聞に掲載されました

◆　昨日、朝日新聞にて次のように報道されました。

□□ストレス□心のケア急務

□□□

【故郷】

・福島県にのべ３０年以上住んでいた……７７．２％

・地元に、絶対に帰りたい、帰りたい……４１．４％

・帰れないかもしれない……７４．７％

詳細は朝日新聞６月１９日号をご覧ください。

120619震災支援こころのケア（朝日新聞）（PDF）

6/16『働く者の過労・パワハラ・自殺１１０番』全国一斉電話相談実施します

終了いたしました。ありがとうございました。

長時間労働や業務過重，パワハラなどでの過労死・過労自殺，その他労働災害での
負傷などについて，労災事件の経験豊かな当事務所の弁護士を含む埼玉の弁護士が，
無料で電話相談に応じます。

また，必要に応じて後日面談をおこない，労災申請や訴訟について代理人をお引き受けいたします。
お気軽にお電話ください。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]5[illegible]

[illegible]

生活相談「対応」講座・第5回

【終了】生活相談【対応】講座□第6回□日程変更いたしました

終了いたしました。ありがとうございました。

生活相談【対応】講座□第6回が平成24年7月27日(金)に予定されていましたが

下記日程と変更となりましたのでお知らせいたします。

□□□日時：平成24年7月13日（金）
□□□□□□□午後6時～8時□□□

□□□場所：当事務所・3F会議室

□□□講師：弁護□佐渡島□啓

□□テーマ：交通事故関係

□□参加費：無料

多数のご参加をお待ちしております。

埼玉県内に避難中の福島の方へのアンケート結果について

震災支援ネットワーク埼玉では、制度の改善や支援の充実につなげるため、
埼玉県内に避難中の福島の方1658世帯にアンケートを行い、これまでに約500世帯の方から
回答をいただきました。

４月２１日のシンポジウムでは、先着の１００通の回答について、早稲田大学の辻内琢也准教授より、速報として、集計結果が報告されました。

今後、全体の集計が終わるのは、6月上旬ころの予定です。
この段階では、

・□生活費に心配あり□6割
・□3割近くがローンあり
・□8割が体調に心配あり、５割が持病あり。
・□約３割が放射線被曝がものすごく心配
・□悩みや困ったことを誰にも相談できていない人が３割
・□ＰＴＳＤの可能性があり通院が推奨されるレベルの人が７割

等の深刻な結果が出ています。

また、自由回答欄には、多くの方がこころを振り絞って思いや要望を記載されています。

詳細は、報告書をご覧ください。

◆　5月5日、東京新聞にて次のように報道されました。

http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20120505/CK2012050502000092.html

【埼玉】

７割□ＰＴＳＤ可能性□県内避難の被災者

2012年5月5日

東京電力福島第一原発事故で、県内に避難している福島県の被災者を対象に、県内の弁護士や支援団体でつくる「震災支援ネットワーク埼玉」（ＳＳＮ）が、生活環境や健康状態を調べるアンケートを実施した。

速報値では、有効回答者の約７割に心的外傷後ストレス障害（ＰＴＳＤ）の可能性があり、
ＳＳＮ代表の猪股正弁護士は「行政と民間が知恵を出し合って解決に乗り出すべきだ」と訴えた。
（増田紗苗）

アンケートはＳＳＮのメンバーが作成し、早稲田大学人間科学学術院の辻内琢也准教授らが解析。
三～四月、福島県八市町村から埼玉県内に避難中の１６５８世帯に郵送し、４８３世帯（２９・１％）から回答があった。
うち先着した南相馬、浪江、大熊各市町の１００世帯分の回答を速報値としてまとめ、ＳＳＮや被災者団体、行政などの関係機関がさいたま市で先月開いた「埼玉県震災対策連絡協議会」で発表した。

有効回答７５件のうち５１件で、ＰＴＳＤの可能性があるとされる数値を大きく上回った。
心療内科の専門医でもある辻内准教授は「速報値ではあるが、ここまで高い数字が出て驚いている。
症状を見逃さないように、注意してケアしないといけない」と指摘した。

悩みについては、３０％が「誰にも相談できていない」と回答。相談相手がいても相談機関などではなく身近な人が多い。

生活費については、６１％が「心配がある」と回答。２４％は貯蓄がなかった。
回答者の六割以上が無職で、農業や自営業者のほとんどが廃業していた。

残りの回答は今後集計し、被災者の生活環境とＰＴＳＤの関係などを詳細に分析する方針。

[illegible]

[illegible]

[illegible](PDF)

[illegible]4[illegible]21[illegible]

[illegible]

[illegible]

●2012[illegible]4[illegible]21[illegible]

http://mytown.asahi.com/saitama/news.php?k_id=11000591204210001

[illegible]

2012[illegible]04[illegible]21[illegible]

◇[illegible]

[illegible]

□アンケートを実施した。

□これまでに約400通の回答があり、シンポジウムでは100通を分析した結果を発表する。
□岩手医科大学の大塚耕太郎特命教授が「孤立防止の取り組み」を講演し、避難者や
□支援団体がリレートークをする。

□ＳＳＮ代表の猪股正弁護士は「震災から１年たち、避難者の状況やニーズが変わってきている」と話している。

□シンポジウムは入場無料。
□問い合わせはＳＳＮ事務局（**048-829-7400**）へ。

茶のしずく被害□埼玉から２２人が提訴しました

当事務所の竹内和正弁護士が事務局長を務める
【茶のしずく石けん被害対策埼玉弁護団】が
製造元会社の悠香など３社に対して損害賠償を求める訴訟を起こしました。

詳細はこちら↓
http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20120421/CK2012042102000109.html
4月21日の埼玉新聞、朝日新聞、東京新聞、毎日新聞、産経新聞、しんぶん赤旗に掲載されました。

今後は被害のさらなる申出に応じて、第２次提訴も検討しております（提訴時期未定）。

埼玉県内で被害に遭われた方のご相談・お問い合わせは
当事務所（**048-862-0800**）までご連絡下さい。

【終了】生活相談【対応】講座第5回日程変更いたしました

終了いたしました。ありがとうございました。

生活相談【対応】講座第5回が平成24年5月25日(金)に予定されていましたが
下記日程と変更となりましたのでお知らせいたします。

□□□日時: 平成**24年6月15日(金)**
□□□□□□午後6時~8時

□□□場所: 当事務所・3F会議室

□□□講師: 弁護士野本夏生

□□テーマ: 労災

□□参加費: 無料

多数のご参加をお待ちしております。